



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

## 2006.12

No. 272

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



# 加須はなさき公園探鳥会のご紹介

長嶋宏之(蓮田市)

## はじめに

加須はなさき公園は、埼玉県の東北部に位置し、国道125号北大桑交差点から菖蒲方向に3km、又は東武伊勢崎線花崎駅から南西へ徒歩約10分の距離にある田園風景に囲まれた水と緑豊かな公園である。中でも芝生に囲まれたボート池、川辺を模した自然観察園は鳥達の楽園となっていて、ビギナーの探鳥コースとして喜ばれている。

同公園探鳥会は、公園側と県支部との共催で3月、5月、12月に開催され、下記の特徴を持っている。

- お互いの長所を生かした運営
  - ・ 公園側はその得意とする広報力を生かし、近隣市町の広報誌へ探鳥会の紹介、園内の掲示等でビギナーへの呼びかけを分担している。
  - ・ 探鳥会での鳥の案内は当支部担当が受け持っている。
- ビギナーがたくさん参加する。
  - ・ 支部報『しらこぼと』の情報での参加者に加え、公園側のきめ細かな広報活動で参加する人達が多い。その結果、鳥は勿論のこと野草や樹木、更に昆虫等に関心がある人など、幅広い層の参加者(10歳未満から70歳代まで)が多く、担当として嬉しいことである(2006年3月の探鳥会では、全参加者67名中20数名のビギナー参加があった)。

## 加須はなさき公園探鳥会の特徴

### 1 ビギナーを大切にする探鳥会

#### ① 黄色いリボン作戦を採用

初めて探鳥会に参加する方や経験の浅い方を対象として、その希望者に黄色いリボンを着けてもらっている。慣れない不安な気持ちを少しでも和らげ、リーダーを始め周囲のベテランが「声かけ」等の気配りや「少し詳しい説明」(観察器具の使い方、鳥の探し方等)を効果的に出来るようにする「ねらい」がある。



### ② 野鳥観察会参考資料を配布

ビギナー向け参考資料『バードウォッチング入門』を今までに3種類作成し、喜ばれている。希望者に1回の探鳥会でどれか1種類を配布している。この資料は、後述するアンケートで参加者からの希望により形にしたものである。

『バードウォッチング入門』

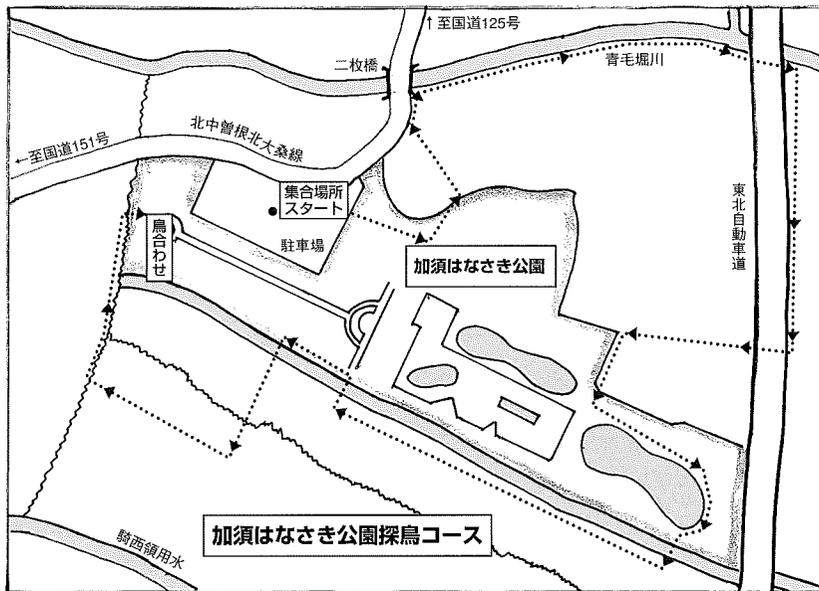
- (その1) …野外で鳥を見つける方法、双眼鏡の使い方
- (その2) …鳥と自然、用語の説明
- (その3) …望遠鏡の使い方、環境別チェックポイント

### ③ 野鳥観察を通して自然観察の楽しさを知ってもらいたい

「いつでも、どこでも、誰にでも楽しめるバードウォッチング」を柱に、身近な鳥の観察[なにしてる? ウォッチング]に重点を置いている。登校や通勤の途中、散歩や友人とのハイキングの折、野鳥に親しみを持てるような仲間が増える事を願っている。また、幸いな事に当公園には自然観察園があり、樹木や季節の草花も楽しめる。野鳥観察の傍ら、自然観察の楽しさも知ってもらいたい。

### 2 友達を作ってワンポイント・レッスン

「バードウォッチングを5年程経験すると身近な鳥を一通り見終えて、次の目標を模索する人がいる」と聞く。ある人は写真に、ま



たある人はバードカービングにという具合である。当探鳥会では、「次の目標」を探す為の参考に、過去に下記のテーマをワンポイント・レッスンとして示した。

- ① 亜種について (オオカワラヒワ)
- ② 小鳥の渡りについて (カシラダカ)
- ③ サシバとハチクマの渡りについて

参加者の中には、隠れた達人がたくさんいる。その達人に声をかけよう。きっと人生を豊かに過ごせる良いテーマが見つかることだろう。

ハンドルネームでも本名でもいいから名札を着けて参加することをお奨めする。気心知れた仲間と園内のうどん店で温かな天麩羅うどんを食べ、冷えた体を温めながらの鳥談義もまた楽しい。

### 3 アンケート調査

鳥合せ終了後、当公園への希望を聞くため、また探鳥会をより楽しいものにするため、参加者の協力の下、アンケートへの回答を依頼している。

具体的なアンケートの内容や集計結果は別稿とするが、我々リーダーや公園側にとって参考となることが多くあり、これを基に次回をもっと楽しい探鳥会にしたいと努力している。参加者の皆様にはこれからも宜しくご協力をお願いしたい。

### 探鳥コースと観察種

コースの主な環境は、青毛堀川・田圃・公園内 (ポート池・自然観察園)、それにアシ原と屋敷林である (地図参照)。

- 1 スタート地点の公園駐車場周辺  
シラコバト、メジロ、カワラヒワ等
- 2 青毛堀川の岸を歩き田圃に  
カワウ、ハクセキレイ、ホオジロ等
- 3 高速道路の側道を通り屋敷林  
キジバト、スズメ、オナガ等

- 4 公園のポート池  
コガモ、ヒドリガモ、アオサギ等

- 5 川辺を模した自然観察園  
マガモ、カルガモ、カワセミ、モズ等

- 6 アシ原と屋敷林  
ツグミ、オオヨシキリ、カシラダカ等

- 7 鳥合わせ地点とその周辺  
ダイサギ、チョウゲンボウ、キジ等

季節による観察種や過去の記録の詳細は4ページの資料を参照下さい。

### 終わりに

ビギナーにリピーターが多いこと、そして3名が会員になってくれたことが嬉しい。

今月の17日(日)には、本探鳥会を計画しています。行事案内欄をご覧になって、皆様のお越しを心からお待ちしています。





## 野鳥情報

**さいたま市岩槻区高曽根** ◇8月23日、オオタカ亜成鳥1羽、植木畑に飛びこむ。畔にオオジシギらしき鳥が佇む(鈴木紀夫)。

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇9月11日、狭く暗い用水でカワセミ3羽。センダイムシクイ1羽、コムクドリの小群、この時期珍しいヤマガラ5羽+。9月11日、エゾビタキ1羽。9月14日、コサメビタキ1羽とキビタキ♀1羽がシジュウカラの小群と行動。エゾビタキ1羽はミズキの木近く。その他、カワセミ1羽、コムクドリ約10羽、ヤマガラ約5羽の群れが2つ。9月15日、エゾビタキ、キビタキ♀、ムシクイ類、カッコウ類(赤色型)各1羽。9月20日、エゾビタキ1羽、キビタキ♀、コサメビタキ1羽、ツツドリ(赤色型)1羽、ヤマガラ10羽。ヤマガラは他の所でもよく見かけ、今季は異様に多く感じる。9月21日、キビタキ♂1羽と♀が一緒。カッコウ類が飛び去る。他の場所でキビタキ♀1羽、オオドリ♂若鳥1羽一緒。さらにキビタキ♀2羽、上空をカケス1羽飛ぶ、今季初認。元荒川岸でコガモ1羽、イカルチドリ1羽、これらも初認。ヤマガラが落葉の中にエゴノキの実を嘴で埋めて、落葉をかける貯食行動を観察。9月25日、カケス5羽飛翔。キビタキ♀5羽、♂1羽、エゾビタキ2羽、ツツドリ(赤色型)1羽、ヤマガラ5羽+、この内2羽は貯食行動。9月27日、「クルルル…」とキビタキらしき声10ヶ所以上、見たのは早ばかり。エゾビタキ4羽、アカゲラ♀1羽。9月28日、キビタキ♀6羽+、♂1羽、エゾビタキ4羽、アカゲラ♀2羽、ツツドリ1羽、メボソムシクイ?1羽、ヤマガラ7羽、カケスなど。元荒川でイカルチドリ6羽、イソシギ2羽(鈴木紀夫)。◇10月3日午前11時頃、ミズキの木及び周辺の狭い範囲でメボソムシクイ、キビタキ♀、エゾビタキ、コサメビタキ、ヤマガラ、シジュウカラを確認。入り乱れて、活発に飛び回っていたので、数を特定することは困



シジュウカラ(大澤 祐)

難。1種1羽~3羽程度と思われる(植草徹)。◇10月7日、コサメビタキ、ムシクイsp(大塚操)。10月10日、釣堀周辺中心でエゾビタキ10羽位、カケス目立つ、上空5~6羽で通過。ヤマガラいつもより目立つ。キジバト、ツツドリ、ツバメ、カワセミ、コゲラ。アカゲラ♂1羽、テストコース南端で10月11日~12日も確認。ヒヨドリ、上空10数羽の渡り。ハクセキレイ、モズ♂♀。ノビタキ、文化公園では珍しい?セッカ、ムシクイsp、ウグイス、オオヨシキリ(珍しい。天候不順?)、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメなど(大塚操、植平徹)。10月12日オナガ、キセキレイ、セグロセキレイ(大塚操)。

**さいたま市緑区上野田** ◇9月22日、刈田の中の棒にノビタキ2羽がとまっていた(鈴木紀夫)。

**さいたま市見沼区丸ヶ崎** ◇9月25日、刈田でチュウサギ2羽とタシギ9羽、夏と冬の同居(鈴木紀夫)。

**さいたま市桜区大久保農耕地** ◇9月28日、A区でノビタキ1羽、チュウサギ、ダイサギ、アオサギ、ヒバリなど(井内寛裕)。◇10月5日、C区の電柱にオオタカ若鳥1羽。土手でノビタキ7羽が飛び交う。B区からC区へノスリ1羽飛翔(鈴木紀夫)。

**さいたま市桜区秋ヶ瀬公園** ◇10月5日、子供の森でエゾビタキ3羽、キビタキ♀2羽、カケス、ヤマガラなど(鈴木紀夫)。

**さいたま市南区辻3丁目** ◇10月4日午前8時、和光院の林からカケス8羽、西のほうへ飛んで行った(倉林宗太郎)。

**さいたま市大宮区第三公園** ◇10月9日、池、川面にはまだコガモ、カルガモがいるだけ。

桜の木にシジュウカラ、スズメ、芝にはムクドリの群、電線でハクセキレイが澄んだ声で鳴いていた。池の端の草で覆われた小さな木の中でアカゲラの声、暫く待つと飛び出して柳の木に止まった。近くでもう1羽の声がしたが姿は確認できず(赤堀尚義)。

**越谷市古利根川** ◇9月23日早朝、堂面橋下流400m付近で常連のコチドリ、イカルチドリ、イソシギに加えて古利根の貴婦人アオアシシギが3羽飛来。喉から下は真白、朝日に映えて美しい。10月3日早朝、同所でコチドリ10羽、イカルチドリ15羽、イソシギ6羽、カルガモ50羽。コガモは近くの池には来ているのに、まだ川には入ってこない(植草徹)。

**蓮田市黒浜** ◇9月25日、田んぼでチョウゲンボウ♂1羽、ノビタキ3羽。上沼北側で車の前を横切り、灌木にとまる鳥を確認したらアリスイだった。療養所内でアカゲラ1羽、ヤマガラ2羽+、キビタキ♀2羽、カケスの騒々しい声(鈴木紀夫)。◇10月5日、刈田でチュウサギ12羽、ダイサギ2羽、コサギ1羽。療養所でシジュウカラ、ヤマガラ、コガラの混群に出会った。コゲラ1羽が混じっていた。シーズン開始。上沼でダイサギ1羽が飛び立ち、「ガー」という声で鳴いた。初めて聞く声で、美しいとはとても言えない。コサギ1羽、バン、カルガモ、モズ、カワウ(本多己秀)。

**戸田市道満彩湖** ◇10月13日、カモがやっと多くなってきた。マガモ18羽、カルガモ86羽、コガモ63羽、ヒドリガモ41羽、オナガガモ24羽、ホシハジロ3羽、キンクロハジロ9羽、スズガモ1羽、ツバメ5羽、カケス13羽、ウミネコ1羽、ハクセキレイ3羽、メジロ5羽(倉林宗太郎)。

**所沢市山口** ◇9月24日午前8時30分頃、自宅近く上空にサシバ5羽が舞っていると電話が来た。あわてて窓から見ると、その情報場所から自宅真上に移動してしまったらしく、1羽だけ肉眼で確認できた。10月1日午前8時15分頃、自宅から南東100mほど離れた森の上で、10羽以上かと思われるカラスが大騒ぎしていた。見ると1羽の猛

## 埼玉県内年間鳥見ランキングの募集

### 普及部

2006年の鳥見の総決算として第6回埼玉県支部年間鳥見ランキング、「探鳥会参加数ランキング」と「観察鳥種数ランキング」の記録を募集いたします。

2005年度では、探鳥会参加ランキングに18名、県内観察聴取ランキングに17名の参加がありました。『しらこぼと』2006年4月号の結果発表によりますと、探鳥会参加数第1位は小川町の鈴木敬さん(53回)、県内観察鳥種数1位は志木市の藤澤洋子さんの154種でした。あなたも記録を整理して、この催しに参加してみましょう。

### 【探鳥会参加数ランキング】

探鳥会で応募葉書をもらうか、「参加した探鳥会名」「実施月日」をリストにする。

### 【観察鳥種数ランキング】

探鳥会でリストをもらうか支部の野鳥リストに「観察日」「観察市町村名」を記入する。

### 【リストの送付方法・送付先】

葉書または封書で、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、下記宛先に郵送してください。

橋

口長和宛。締め切りは2007年1月31日の消印有効とします。なお、応募は埼玉県支部会員に限ります。発表は支部ホームページと支部報『しらこぼと』で行います。

禽がモビングされており、初めはオオタカかと思ったが、すぐサシバだと気が付いた。あわてて双眼鏡を持ってベランダに出ると、自宅上を通過し北西の方向にモビングされながら移動していた。1羽だけと思っていたが、それとは別のサシバ1羽が自宅横の上空を旋回し、自宅真上で見えなくなり、依然4、5羽のカラスにモビングされていた1羽は、さらに上空高く旋回しながら雲の中に消えた(小林ますみ)。

### 表紙の写真

キツツキ目キツツキ科アカゲラ属アカゲラ  
北海道根室で撮影 外園たけの(春日部市)



## 行事案内



ミコアイサ♀ (松村禎夫)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費:一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物:筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻:特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

### 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日:12月2日(土)

集合:午前8時10分、東武日光線柳生駅前または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通:東武日光線新越谷 7:20→春日部 7:34→栗橋 7:55→柳生 8:05 着。または JR 宇都宮線大宮 7:07→栗橋: 7:40 着で、東武日光線乗り換え。

担当:内田、橋口、玉井、田邊、四分一、中里、鬼塚植平

見どころ:カイツブリ類やカモ類、猛禽類の種類と数が多く観察できるのも遊水地のいいところ。ここ数年、チュウビも目の前を飛ぶようになりました。オオジュリンなどの冬の小鳥たちの声、姿もじっくり観察しましょう。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日:12月3日(日)

集合:午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通:JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス 8:31 発で「自然観察公園前」下車。

担当:浅見、岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、長谷川

見どころ:昨年は高尾の池に氷が張っていました。鳥たちは元気になっているでしょうか? 常連のジョウビタキ、ツグミ、カシラダカなどを、枯野や雑木林の中に探します。青空をバックにタカ類が帆翔してくれたら幸せ。

### さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

<差間コース>

期日:12月3日(日)

集合:午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通:JR 浦和駅西口バス1番乗り場から、浦和美園駅行き 8:31 発で「念仏橋」下車。

後援:浦和くらしの博物館民家園

担当:伊藤(芳)、手塚、工藤、倉林、若林、新井(勇)、赤堀、藤田(敏)

見どころ:シメ、ジョウビタキ、ツグミなどの冬の鳥たちに、そしてカモたちに会いに行きます。例年結構寒いですよ。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日:12月3日(日)

集合:午前9時30分、西武狭山線西武球場前駅前。

担当:石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持丸、小林(ま)

見どころ:冬の初めの狭山湖には渡り途中の思わぬ鳥が立ち寄ることがあります。珍しい鳥に出会えたら「ラッキー」。定番のカムリカイツブリはこの時季どのくらい来ているでしょうか。オオタカなどの猛禽類にも期待して湖岸を歩きましょう。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日:12月10日(日)

集合:午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通:秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に  
乗車。

担当:中里、後藤、和田、森本、大澤、倉崎、高橋(ふ)

藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、千島、鶴飼

見どころ:木々の装いがすっかりさびしくなっ  
てしましました。そのぶん鳥を見つけやすくなり  
ましたね。明戸堰では衣替えをしたカモや北国  
の使者コハクチョウが待っています。

### さいたま市：岩槻文化公園探鳥会

期日:12月10日(日)

集合:午前8時35分、東武野田線岩槻駅前。または  
午前9時10分、文化公園駐車場(国道16号  
側)。

交通:東武野田線大宮8:16発、または春日部8:23  
発で岩槻下車。集合後バスで現地へ。

担当:長野、玉井、田中、長嶋、吉安、榎本(建)、野  
村(弘)、小林(善)

見どころ:今年も残すところ3週間。気ぜわしい中  
ですが、林、アシ原、水辺の鳥たちをゆっくと見  
てまわりましょう。初心者大歓迎！ベテランに  
もお土産になる鳥の出現を期待します。

### 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日:12月13日(水)

集合:午前8時10分、東武日光線柳生駅前または午  
前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通:東武日光線新越谷7:20→春日部7:34→栗橋  
7:55→柳生8:05着。またはJR宇都宮線大宮  
7:07→栗橋7:40着で東武日光線乗り換え。

担当:玉井、大坂、田中、楠見、植平、鬼塚、藤澤、  
松村

見どころ:渡良瀬は四季を通じてすばらしく、鳥が最  
も多いのは冬です。谷田川や谷中湖で10種を  
超えるカモや水鳥、次いでアシ原の上を飛ぶ  
猛禽類が楽しめるでしょう。途中の枯れ草の中  
や史跡ゾーンで、小鳥たちも期待できます。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき:12月16日(土)午後3時~4時

会場:支部事務局107号室の隣、108号室の方  
です。

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日:12月17日(日)

集合:午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集  
合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま  
市立浦和博物館前。

後援:さいたま市立浦和博物館

担当:楠見、福井、倉林、渡辺(周)、若林、小菅、赤  
堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎

見どころ:昨年は宇野澤、10月からは若手の須崎が  
リーダーに加わりました。参加者も100名近く、  
芝川の工事もあと少しで終了します。こうした状  
況の中でリーディング探鳥会として新しい模索  
をしていきます。忘年探鳥会にどうぞ。

### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日:12月17日(日)

集合:午前10時10分、森林公園南入口前。

交通:東武東上線森林公園駅下車、森林公園  
南口行き9:59発バスで終点下車。

費用:入園料400円(子供80円)

担当:内藤、佐久間、岡安、藤掛、青山、喜多、後  
藤、大坂、山田(義)、高橋(優)、高橋(ふ)、藤澤、  
中村(豊)、林

見どころ:落ち葉を踏みながら、樹林に飛び交う小鳥  
の声や姿、天空に舞う猛禽類、沼の鳥たちを楽  
しみましょう。山田大沼までの陽だまりコースで  
す。

### 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日:12月17日(日)

集合:午前9時、加須はなさき公園駐車場。

交通:JR宇都宮線大宮8:03→久喜8:24着で、  
東武伊勢崎線春日部8:21→久喜8:34発に乗車、  
花崎8:41着。

担当:長嶋、中里、玉井、宮下、四分一、栗原、植  
平、鬼塚、内田、長谷川

見どころ:冬鳥も長旅の疲れがとれて、自分の居場  
所を定めたようです。葉の落ちた公園で鳥たち  
の冬のすごし方を観察しましょう。モズが「はや

にえ」を枝先に蓄えているかもしれませんよ。

(今月の特集をご覧ください)

## 年末講演会

日時:12月23日(土・祝)午後1時00分開場

会場:さいたま市民会館うらわ 会議室

さいたま市浦和区仲町2-10-22

TEL048-822-7101 <http://www.saitama-culture.jp/urawa/>

交通:京浜東北線浦和駅西口から徒歩約10分。県庁通りを西へ進み、さいたま会館手前の角を右折して、約400m。

入場料:100円(中学生以下無料)

第1部:午後1時30分~2時45分

◆ビデオで振り返るこの一年

◆私の今年最高の一枚

第2部:午後3時00分~4時30分

講演:『身近な鳥の不思議』

講師:安西英明氏(財)日本野鳥の会 普及室主任研究員

懇親会:希望者だけ、会場を支部事務所に移して行きます。会費は2000円。

### 講演会当日用の参加作品を募集!

◆野鳥関係ビデオコンテンツ(5分程度)

題名、内容、長さ、住所、氏名、メールアドレスを、下記あてにハガキまたはメールでお知らせください。作品は当日ミニカセットで持参するか、事前に下記あてにミニカセットをお送りください。

◆野鳥関係デジタル写真コンテンツ(1人1作品)

題名、コメント、住所、氏名、電話番号、メールアドレス等を付記して、メールで下記までお送りください。フィルム写真をデジタル化したものでもOK。

橋口長和

## 幸手市・宇和田公園探鳥会

期日:12月24日(日)

集合:午前8時30分、宇和田公園駐車場。

交通:東武伊勢崎線東武動物公園駅東口から、境庫行き8:05発バスにて「上宇和田」下車、北に徒歩約5分。

担当:中里、宮下、四分一、栗原、植平

見どころ:人影も少ない静かな冬の公園は、落ち葉を踏みしめる音が心地よく聞こえます。今年一年間楽しませてくれた鳥たちに感謝の気持ちで、年末のひと時を過ごしましょう。

## さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日:1月3日(水・祝)

集合:午前9時30分、さぎ山公園入口

交通:大宮駅東口7番バス乗り場から、大01、大02、大02-2系統で約20分。「さぎ山記念公園」下車。正月ダイヤの問い合わせは、国際興業さいたま東営業所(TEL 048-812-1577)まで。

適当な時間帯にバスの便がない場合があります。その場合はその次のバスまでお待ちします。あせらずにお出かけください。

駐車場はありますが、飲酒運転は厳禁です。

担当:海老原、楠見、工藤、福井

見どころ:なんと19年目! 酒類食べ物持参でお集まりください。探鳥会が終わった後、いつもの野外新年懇親会です。

## 茨城県・平潟温泉探鳥会(要予約)

期日:平成19年1月27日(土)~1月28日(日)

集合:27日(土)午前7時50分、JR大宮駅西口ソニック大ホール前広場。

交通:往復とも貸し切りバスを利用。

解散:28日(日)午後5時頃、大宮駅西口。

費用:24,000円の予定(泊2食付き宿泊費、28日昼食代、保険料を含む)。過不足の場合は当日精算とします。

定員:25名(先着順、当支部会員に限る)

申し込み:往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記

橋口長和

へ。

担当:橋口、玉井、田邊

見どころ:茨城県潤沼→大洗→北茨城→いわきの海岸、漁港を巡りカモメ類、海ガモ類を探します。夜は掛け流しの温泉に入りあんこう鍋を賞味します。

宿泊:平潟温泉「港の宿かんき」、男女別の相部屋です。個室の用意はできません。



## 行事報告

6月4日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：74名 天気：曇

カイツブリ カワウ アオサギ カルガモ オオタカ チョウゲンボウ キジ コチドリ コアジサシ キジバト カッコウ カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 涼しくて快適。少なかったが、じっくりと観察できた。キジ♂の雄姿に歓声が上がり、コアジサシのダイビングに見とれて、オオヨシキリのさえずり、遠くからカッコウのさわやかな声も聞こえる。工事中の調整池周辺も鳥たちの子育てたけなわ。(手塚正義)

6月11日(日) 熊谷市 大麻生

雨のため中止。

6月17日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：10名

江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、志村佐治、千野安以、藤掛保司、藤野富代、松村禎夫、米岡茂代

6月18日(日) さいたま市 三室地区

参加：36名 天気：曇一時小雨

カワウ ゴイサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ キジ コチドリ キジバト カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 天気予報が雨に向かう梅雨の探鳥会は難関だ。参加者も少ないと予測したが、鳥好き、見沼田んぼ大好き人間が集まった。その元気に応えて、コチドリが小高い盛土の上で歌い、ヒバリが畑地の草の合間から飛び立ち、オオヨシキリはアシの天辺で高らかに鳴く。カワセミは芝川で小魚を狙って水面に飛び込む。

出現鳥は少ないが、生きることのドラマがあって、元気を貰う探鳥会になった。(楠見邦博)

6月18日(日) 坂戸市 高麗川

参加：29名 天気：小雨

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ キジ コチドリ イカルチドリ キジバト ホトトギス カワセミ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 川角駅前から見える梢で鳴くホトトギスの聞きなしの話「特許許可局」「原稿書けたか」と、早くも結果報告をせかされているみたいだ。長靴を履いてきた人やスパッツを着装する人、小雨模様のために行けるところまでの約束でスタート。途中の城山橋下で雨宿りしながら早めの鳥合わせ。その後、質問に答えて三宅島探鳥ツアーの話をした。東京渋谷から参加した人は、城西大学グラウンド脇の河川敷ではキジがきれいだった、高麗川天神橋の手前ではカルガモの親子連れが見られ可愛かったとの感想だった。(藤掛保司)

7月2日(日) 幸手市 宇和田公園

参加：35名 天気：曇

カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ イソシギ シラコバト キジバト カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 今にも降り出しそうな雲行きの中スタート。早速カワセミが川縁を飛んで行く。幸運な数人の人たちだけ見ることができた。用水路のコンクリートブロックの上にセグロセキレイとハクセキレイの幼鳥が出て識別の勉強。しばらく行くと電線にシラコバトが止まっていた。初めて見ると言う人が案外多いのには驚いた。江戸川に出るとオオヨシキリが盛んにさえずっている中で、ウグイスも負けてはいない。最後に橋桁に止まっているチョウゲンボウの親子の様子を皆でじっくり観察することができた。最後まで天気が持ってくれてほっとした。(中里裕一)

7月9日(日) 栃木県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 49名 天気: 曇時々小雨

カイツブリ カワウ ゴイサギ ササゴイ アオサギ カルガモ キジバト バン シロチドリ セグロカモメ ウミネコ コアジサシ キジバト カッコウ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ ウグイス コヨシキリ オオヨシキリ セッカ シジウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 何とか降らずに……の思いを胸にスタートした。思い出橋で谷田川上流にカルガモ。ヨシゴイも2羽頭上を飛んだ。谷中湖ではササゴイ、コアジサシ、カワウ、セグロカモメ。水面には子供たちのカヌーの歓声。小雨がぱらつき始めたので先を急ぐ。モズ、オオヨシキリ、コヨシキリ、ホオジロ。上空のカモメは尾の先端からウミネコ。他カッコウ、セッカ、ウグイス。この間もヨシゴイ、ササゴイは頻繁に出現。小雨のためウオッチングタワー手前の北水門でUターンし、少し早めの鳥合わせ。(内田孝男)

7月9日(日) 熊谷市 大麻生

雨のため中止。

7月15日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 15名

浅見徹、新井浩、江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、小荷田行男、志村佐治、千野安以、檜山秀樹、藤掛保司、藤野富代、増尾隆、松村禎夫、米岡茂代

7月16日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 31名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ アオサギ カルガモ オオタカ コジュケイ キジバト コゲラ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス シジウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシブトガラス (20種) 挨拶後に公園管理センター長の飯塚さんから園内の植物の説明を受けて出発。西田沼でカイツブリと巣の中の卵、近くのコナラの木でオオムラサキを見てから梅林に行った。山百合が丁度見頃なので休憩を取った。桔梗、トンボソウなどの花や小鳥を見ながら山田大沼に向かい、カワウの巣を見ていると雨が降ってきたのでおしまい。(佐久間博文)

7月16日(日) さいたま市 三室地区

参加: 48名 天気: 曇一時小雨

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コチドリ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ オオヨシキリ シジウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (19種) 雨が心配で、代用水の桜並木で雨宿りが出来るように探鳥。結局終了直後に大粒の雨だった。鳥は少なかったがカルガモ親子の二番いが可愛かった。恒例の博物館の研修生が6名参加してにぎやかだった。(楠見邦博)

7月23日(日) 狭山市 入間川

参加: 27名 天気: 曇

カイツブリ ササゴイ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ オオタカ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 家を出る頃は、中止かと思われるほどの雨も、集合時刻にはほぼ上がり、スタート。入間川の水量が多く、水辺の鳥が少ない。夏の数少ない見どころのササゴイも飛んでいる姿しか見られなかったのが残念。(長谷部謙二)

8月13日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 30名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ トビ オオタカ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス セッカ シジウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 前日までと違って変わって朝から抜けるような青空が広がり、気温がぐんぐん上がった。サルベリの咲き誇る小径を抜けて土手に出る。突然ムクドリの大群が一斉に飛び立った。次の瞬間、突然オオタカが現れ、ゴルフ場のユーカリの木に止まった。じっと獲物を見すえている。全員でじっくり楽しむことができた。途中、汗をふきふき秩父鉄道のSLを眺めながら進む。畑の中ではセッカが忙しそうに鳴いている。この暑さの中で、ツバメだけは気持ちよさそうに飛んでいた。皆の体調を考えて、早目に切り上げた。(中里裕一)



●渡良瀬遊水池署名活動の中間報告

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会から、10月17日付けの手紙が届きました。

「当初6月末に第一次集約を目標にお声かけし、その後9月末に延期した中、貴支部からは早速539名の多数の署名をお寄せ頂きまして、誠にありがとうございました。その熱意をひしひしと感じ、他の地域での取り組みへの励みとなりました。(中略)しかし、地元の動きはもう少し待ちたい状況で、(中略)後ほど全体の数等のご報告をいたしますので、ご理解を賜りたく」とのことでした。当支部としては、引き続き署名活動には力を入れたいと考えています。より一層のご協力をお願いします。

●渡良瀬遊水池のシンポジウム

栃木県支部は、生き物の視点にたつて、遊水池に今何が必要なのか考えることを目的に、シンポジウムを開催します。

名称 シンポジウム「生き物の目から見た渡良瀬遊水池の現状と未来」

日時 12月9日(土)、12:30~16:40

会場 小山市立文化センター 小ホール(小山市中央町1-1-1)

基調講演 鷺谷いづみ(東京大学教授・保全生態学)

パネルディスカッション コーディネータ・鷺谷いづみ、パネラー・大川秀雄(昆虫愛好会)、大和田真澄(栃木県植物研究会)、平野敏明(栃木県支部・NPO法人バードリサーチ)

対象 一般(参加申込み不要、資料代500円)

後援 日本野鳥の会関東ブロック協議会ほか  
埼玉県支部は、関東ブロック協議会の本年度正幹事支部として、このシンポジウムの後援決定に、各支部の意見を取りまとめました。

●冬鳥調査の注目種はホオアカ!

県内全域を対象に、今季も冬鳥調査を実施します。

12月1日から1月31日までの間に県内で観察された野鳥の種名と観察地点を、同封されている調査はがきに記入して、お送りください。

今回の注目種はホオアカ! 冬鳥としての県内のホオアカの今について、調べましょう。

研究部・小荷田行男

●事務局の予定

12月2日(土) 編集部・普及部・研究部会議

12月9日(土) 12月号校正(午後4時から)

12月16日(土) 袋づめの会(午後3時から)

12月17日(日) 役員会(午後4時から)

●会員数は

11月1日現在 2,273人です。

活動報告

10月14日(土) 11月号校正(海老原美夫・大坂幸男・志村佐治、藤掛保司、山田義郎)。

10月15日(日) 役員会(司会:橋口長和、来年1月から4月までの行事予定・関東ブロック協議会準備・その他)。

10月23日(月)11月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

日曜日、岩槻文化公園で朽木の穴のスズメバチを撮っていたら、通りがかりの男の人が声をかけてきた。ツアイスを下げ、話をしながらも鳥の気配に敏感で、耳と目と感が鋭い様子。もしかしたらと思って「NSさんですか」と聞くとまさにその通り、私が担当している野鳥情報欄の常連さん。投稿のお礼を言ってしばし歓談。同じ所に行っても、他の人より情報量が多いわけが納得できた。(藤原)

しらこぼと 2006年12月号(第272号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号  
TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/  
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
住所変更退会などの連絡先は 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608  
本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社